

議案提出について

議案「『慰安婦問題』に関する適切な対応を求める意見書」を次のとおり会議規則第13条第1項の規定により提出します。

平成26年10月28日

金沢市議会議長 田中展郎 様

提出者

金沢市議会議員	宮	崎	雅	人
〃	小	林	広	誠
〃	下	沢	洋	伸
〃	久	保	和	子
〃	黒	沢	誠	規
〃	新	村		一
〃	横	越		徹

議会議案第16号

「慰安婦問題」に関する適切な対応を求める意見書

「河野談話」の発表から20年以上がたった現在、慰安婦問題は沈静化するどころか、世界中で日本国及び日本人の名誉と尊厳を不当におとしめる活動が活発化し、深刻な状況となっている。

このような中、「河野談話」作成時の事務方責任者であった石原信雄元官房副長官が陳述した証言が契機となり、その作成過程に問題があることを政府が認めるに至ったほか、本年8月5日には、朝日新聞が、従軍慰安婦の問題をめぐる同紙のこれまでの報道内容で核心をなす部分に誤りがあったことを認め、公に謝罪している。

よって、国におかれては、現在及び未来に生きる日本人の誇りを守るため、下記の項目を実現するよう強く要望する。

記

- 1 慰安婦問題の経緯で確認された事実について、日本国民に正しい歴史認識を周知するための広報を推進するとともに、国際社会に向けて多言語による積極的な発信を行うこと。
- 2 改正教育基本法を踏まえて、教科書が史実に基づいて記述されるように対応すること。
- 3 終戦から70年、日韓基本条約締結から50年の節目となる来年に向けて、慰安婦問題の経緯の内容を踏まえた新たな談話を出すこと。

ここに、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。